

EAGLEのボード図からガーバデータを出力する

1. P 板.com 専用デザインルールファイルのダウンロード

以下のファイルをダウンロードして、指定されたディレクトリに置いてください。

2 層板、パターン幅/間隔 0.127mm【標準】

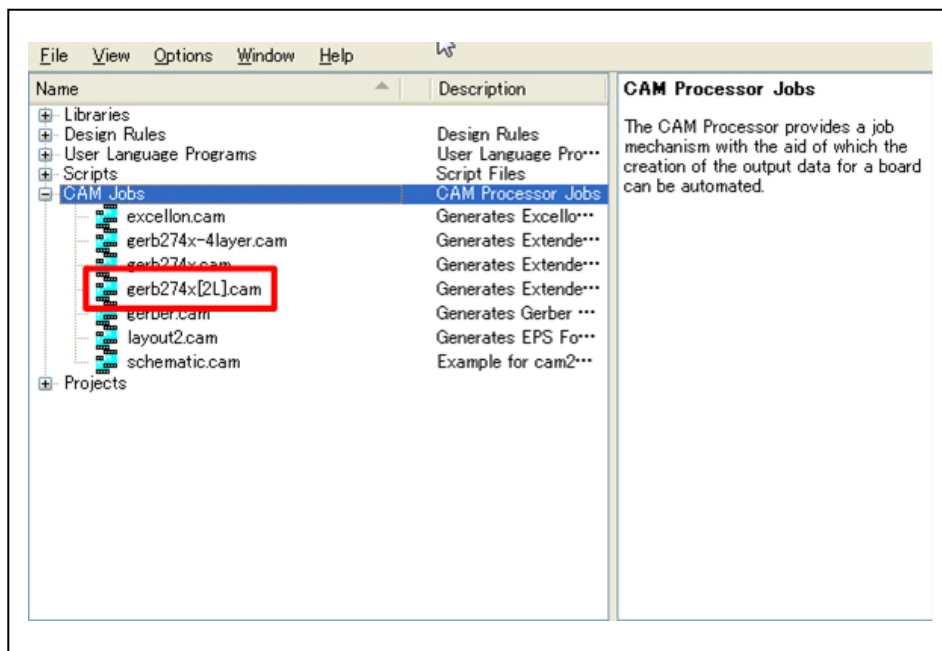
[p-ban-korea-l2.dru](#) → <EAGLE_INSTALL_DIR>/dru/

2 層板用 CAM プロセッサ

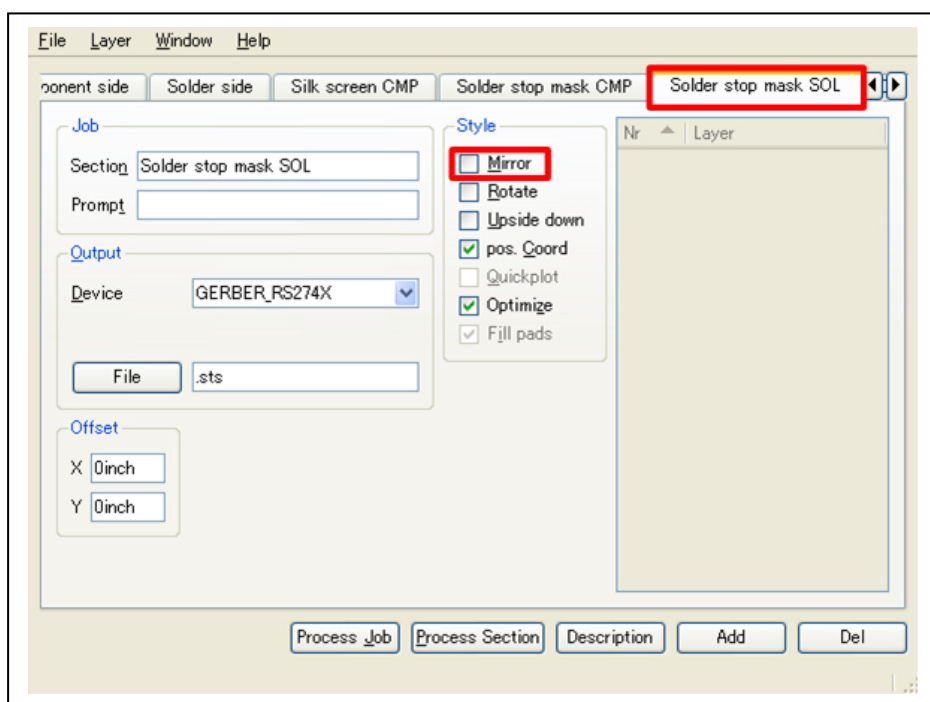
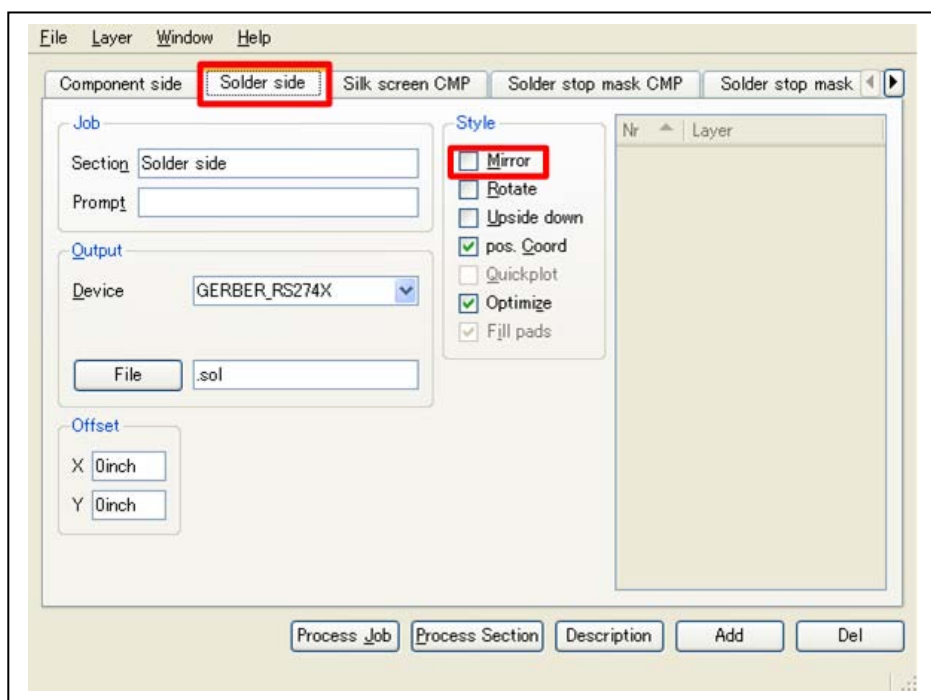
[gerb274x\[2L\].cam](#) → <EAGLE_INSTALL_DIR>/cam/

2. ガーバデータの出力

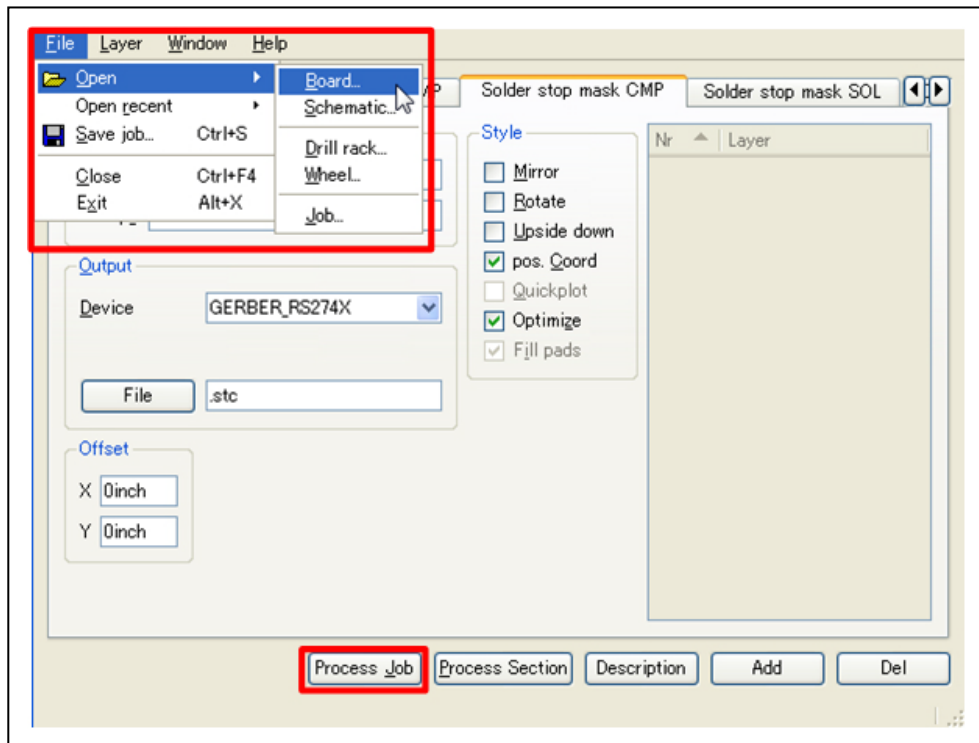
EAGLE を立ち上げて、「CAM Jobs」を選択し、「gerb274x[2L].cam」を開いてください。



「Solder sideタブ」、「Solder stop mask SQL」タブの双方で、「Style->Mirror」にチェックが入っていないことを確認してください。

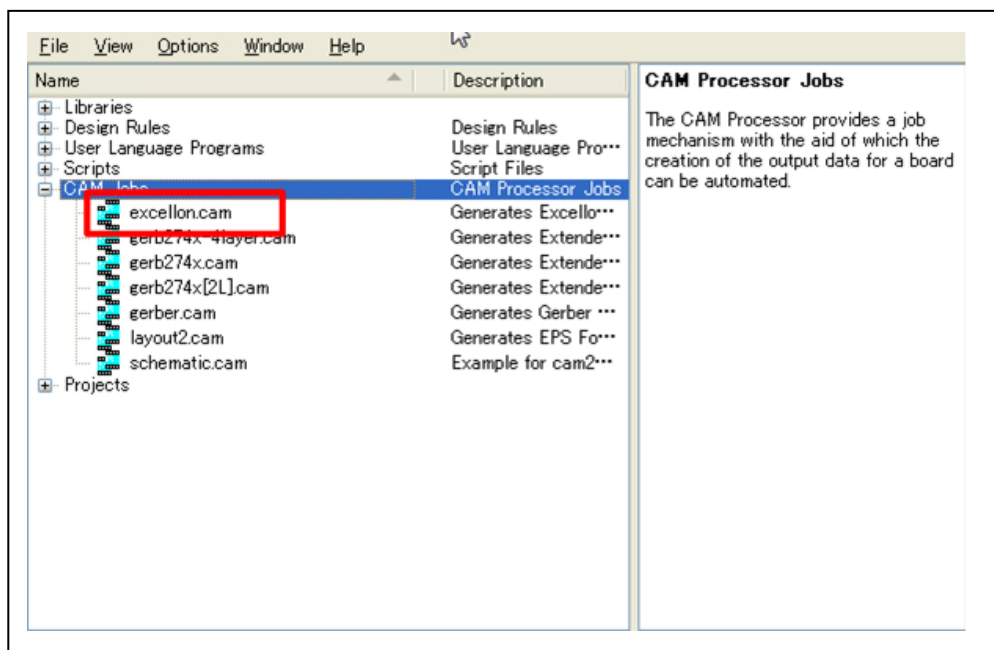


「File->Open->Board」から、対象のボード図(.brd)を開いて、**Process Job** をクリックしてください。

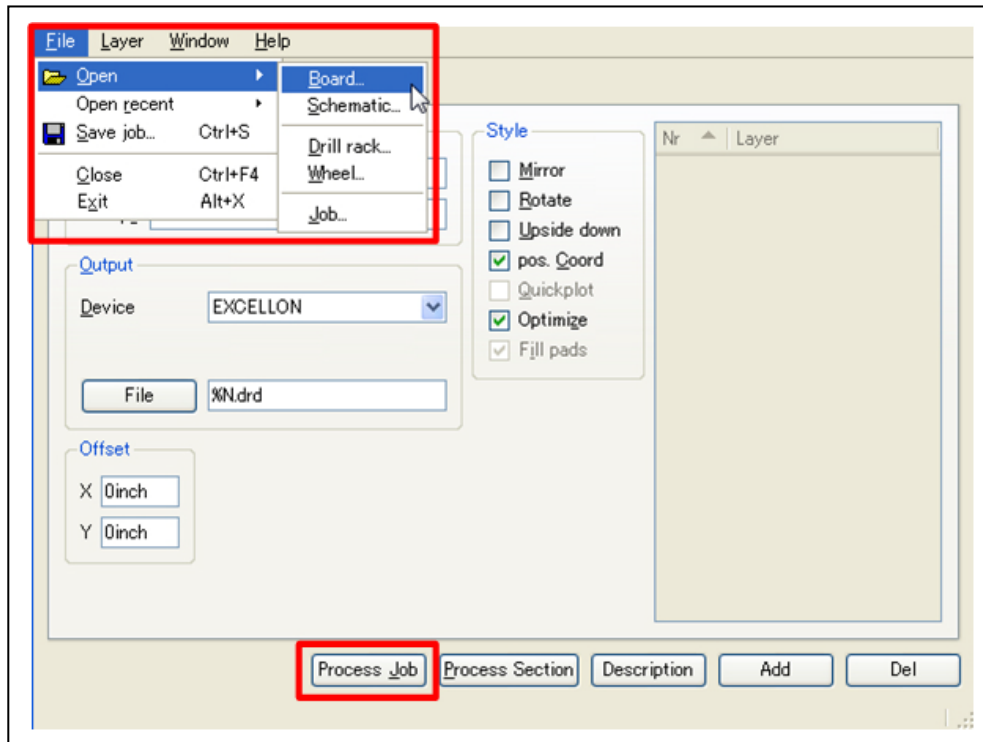


3. ドリルデータの出力

EAGLE を立ち上げて、「CAM Jobs」を選択し、「excellon.cam」を開いてください。



「File->Open->Board」から、対象のボード図(.brd)を開いて、「Process Job」をクリックしてください。



4. 出力データの確認

変換対象のプロジェクトフォルダを開いて、以下のファイルが生成されていることを確認してください。

- <.brd ファイル名>.cmp
- <.brd ファイル名>.gpi
- <.brd ファイル名>.plc
- <.brd ファイル名>.sol
- <.brd ファイル名>.stc
- <.brd ファイル名>.sts
- <.brd ファイル名>.out
- <.brd ファイル名>.drd
- <.brd ファイル名>.dri

5. 製造指示書の作成

「<.brdファイル名>製造指示書.txt」のような名前のテキストファイルを作成し、4.出力データの確認で確認したファイルを、以下のように列挙してください。

添付ファイルリスト

<.brd ファイル名>.cmp (部品面パターン)

<.brd ファイル名>.gpi (レポートファイル)

<.brd ファイル名>.plc (部品面シルクデータ)

<.brd ファイル名>.sol (半田面パターンデータ)

<.brd ファイル名>.stc (部品面レジストデータ)

<.brd ファイル名>.sts (半田面レジストデータ)

<.brd ファイル名>.out (外形線データ)

<.brd ファイル名>.drd ドリルデータ

<.brd ファイル名>.dri ドリルリスト

6. 発注資料の作成

4.出力データの確認で確認したファイルと、5.製造指示書の作成で作成したファイルを一つのディレクトリにまとめて、ZIP 形式で圧縮してください。